

令和7年度 学校教育目標および経営方針

たつの市立御津小学校

I 学校教育目標

主体的に学び、「在りたい未来」を共に創る児童の育成

～ふるさと御津に誇りをもち、夢に向かって挑戦するみつっ子～

【校訓】 なかよく げんきよく せいいっぱい

(1) めざす児童像 〈仲間を大切にし、ともに伸びていく子〉

- ① 主体的に学び、対話と協働を通して伸びていく子
- ② 自他を大切にし、思いやりの心と正しい判断力で行動する子
- ③ 心身を鍛え、自主的・自律的に粘り強く活動する子
- ④ ふるさとに誇りと愛着をもち、自然や歴史、文化を大切にする子

(2) めざす学校像 〈子どもが自分らしく輝き、安心して過ごせる学校〉

- ① 一人一人の願いが大切にされ、命と人権が守られた温かい学校
- ② 児童の可能性を最大限に伸ばし、わかる・できる喜びが得られる学校
- ③ 明るく潤いのある環境整備がなされ、安心・安全で美しい学校
- ④ 家庭や地域と連携して共に歩む開かれた学校
- ⑤ よき校風と伝統を受け継ぎながら、教育の今日的課題に積極的に取り組む学校

(3) めざす教職員像 〈教育に情熱をもち、児童・保護者・地域から信頼される教職員〉

- ① 教育に対する情熱・使命感と高い倫理観をもった人間性豊かな教職員
- ② 「学びの専門家」として謙虚な姿勢で学び続ける教職員
- ③ 児童や地域をこよなく愛し、児童・保護者・地域から信頼される教職員
- ④ 様々な状況に対して誠意をもって迅速に組織的対応ができる教職員

—どの子にも よい環境で よい教職員による よい教育を—

2 経営方針

- (1) 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育を創造する。
- (2) すべての児童が自分らしく安心・安全に過ごせる学校を築く。
- (3) 学校・家庭・地域が連携・協働した「地域とともにある学校」をつくる。
- (4) 「チーム学校」としての組織力の向上と、教職員としての資質と実践的指導力の向上を図る。

〈重点努力目標〉

(1) 学習指導の充実

～「主体的・対話的で深い学び」の実現～

- ① たつの市小中一貫教育を推進し、系統性・連続性のある学びを通して、学習習慣の定着と基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。
- ② 国語科を中心として全教育課程において「ことばの力」を高める活動の充実を図る。
- ③ たつの GIGAスクール構想を推進し、ICTを活用して主体的に最適な学びを自ら選ぶことと、他者とかかわりながら協働的に学ぶことを一体として実現する。

(2) 人権教育、道徳教育の推進

～多様な価値観や今日的な人権課題の理解促進～

- ① 「人権教育基本方針」に基づいて、道徳的实践力を培い、人権を尊重する学校文化を創造する。
- ② 自他の個性・人権を尊重し、自己存在感や自己肯定感が実感できる温かい学級づくりに取り組む。
- ③ 他者や自己との対話により、生き方についての考えを深める道徳科の授業を推進する。
- ④ 地域課題や同和問題の解決に向けた教材開発や職員研修を推進し、教職員の人権感覚や指導力の向上を図る。

(3) 特別支援教育の推進

～一人一人の教育的ニーズに応える指導・支援の充実～

- ① 全教職員の共通理解のもと、一人一人の教育的ニーズに応じた学習指導・就学指導を進めるとともに合理的配慮に努める。
- ② 多様性を認め合い支え合う学級づくりや、ユニバーサルな授業づくりなどの授業改善を通して、全ての学級における特別な支援を要する児童への対応力の向上を図る。
- ③ 保護者や関係機関との連携を進め、校内支援体制の充実と強化を図る。

(4) 生活指導といじめ・不登校対応の充実

～人間的なふれあいに基づく指導の推進～

- ① 「いじめ対応マニュアル」「いじめ未然防止プログラム」「生徒指導提要」等を活用し、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努める。
- ② 「報告・連絡・相談・記録」を密にし、全教職員の共通理解の下、組織的指導を行う。
- ③ SC、SSW、その他福祉・医療機関、市町の関係機関と連携し、教育相談体制の充実を図る。
- ④ 校内サポートルームや民間施設等と連携し、多様な居場所の確保に努める。

(5) 総合的な学習の時間とふるさと意識を醸成する教育の充実

～特色ある教育活動の推進～

- ① 学習の「ねらい」と「育てたい力」、「各教科や特別活動等との関係」を明確にして、指導の充実を図る。
- ② ふるさととの「ひと・もの・こと」をいかした体験活動と探求的な学習活動を充実させることにより、ふるさとのよさを知り、感謝の心やふるさとへの愛着心を育む教育を推進する。

(6) 国際理解教育・環境教育の充実

～グローバルな視野で活躍・行動する資質・能力の育成～

- ① 外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、国際的視野の涵養を図る。
- ② SDGsの目標達成をめざす活動を計画的に実施し、持続可能社会の実現に向けた実践力を育成する。

(7) 健康教育・食育の充実、体力・運動能力の向上

～生涯にわたる健康の基礎を培う～

- ① 「兵庫県学校保健安全計画」に基づき、家庭と連携した健康教育を推進する。
- ② 「新体力テスト」の結果を踏まえ、教育活動全体を通して主体的に運動に親しむ児童の育成を図る。
- ③ 「食育ハンドブック」を活用し、各教科で「ちょこっと食育」を取り入れる等、食育の充実を図る。
- ④ アレルギー対応や熱中症対策等についての共通理解と、定期的な設備・用具の点検等を徹底し、学校の安全・安心を確保する。

(8) 社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成

～自分らしく幸せに生きる力を育む～

- ① 兵庫版「キャリアパスポート」等の積極的な活用によるキャリア教育の体系的・系統的な取組を推進する。
- ② 縦割り班活動や児童集会等、自主的・主体的な特別活動を促進するとともに、教育活動全体を通じて「人とつながる力」や「課題を見つけてやり抜く力」を育成する。
- ③ 兵庫型「体験活動」をはじめとする多様な体験活動を推進し、社会とふれる機会の充実を図る。

(9) 防災教育の充実

～「兵庫の防災教育」の推進～

- ① 震災の教訓をいかし、災害発生時に主体的に判断して行動する力や共生の心の育成を図る。
- ② 「学校防災マニュアル」を踏まえ、学校防災体制を確立し、体験活動を通じた学びやICTを活用した学びを効果的に取り入れるなど、学習形態や指導方法を工夫する。

(10) 地域とともにある学校づくり

～地域に信頼され魅力と活力にあふれた学校づくり～

- ① スクールヘルパー活動や体験学習等で、家庭・地域の教育力をいかした活動の充実を図る。
- ② 各種便り、HP、オープンスクール等を活用し、学校の積極的な情報発信に努める。

(11) 教職員の資質向上、「チーム御津」としての取組の推進

～働きがいのある学校づくり～

- ① 「兵庫県教職員研修計画・資質向上指標」に基づく教職員研修の充実と、児童の実態を踏まえた指導方法の工夫・改善や指導と評価の一体化に取り組み、実践的指導力の向上を図る。
- ② 「学校業務改善に関するガイドライン」に基づき、児童と向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスの推進を図るとともに、服務規律を遵守しハラスメントのない協力・協働の職場環境づくりに努める。
- ③ 複雑かつ多様な教育課題に対して共通理解を図り、「チーム御津」として組織的対応を行う。